

6.11 かあちゃん集会を力に！ 参議院選挙で政治を変えよう！

「建設国保」は、建設労働者に欠かせない制度です！！

いますぐやめて！

後期高齢者医療制度

高齢者の「後期高齢者医療制度は廃止して！」の願いを一身に受けて、民主党は大躍進したはずなのに、「新たな地域単位での医療制度ができるまで、廃止は先送り」ってどういうことなのでしょうか。「年齢で区別」し「年金からの天引き」を強制するなど、人権無視の制度で、さらに2年ごとの改定で保険料が自動的に上がり続けます。

すべての人が必要な医療保険を安心して受けられるように、後期高齢者医療制度は一刻も早く廃止すべきです。



前回のかあちゃん集会の様子

建設国保

国保組合は、法律（国民健康保険法3条）で認められた制度です。

建設現場では現在でも重層下請け構造で、建設労働者の多くは賃金を「日当（日給月給）」で受けています。病気で仕事を休んでも生活の保障は一切ないのが実態です。現場での技術を伴う集団的な肉体労働は、他の自営業と違って家族による代替えも効きません。「建設国保」は建設労働者に欠かせない制度です。



消費税増税に反対です

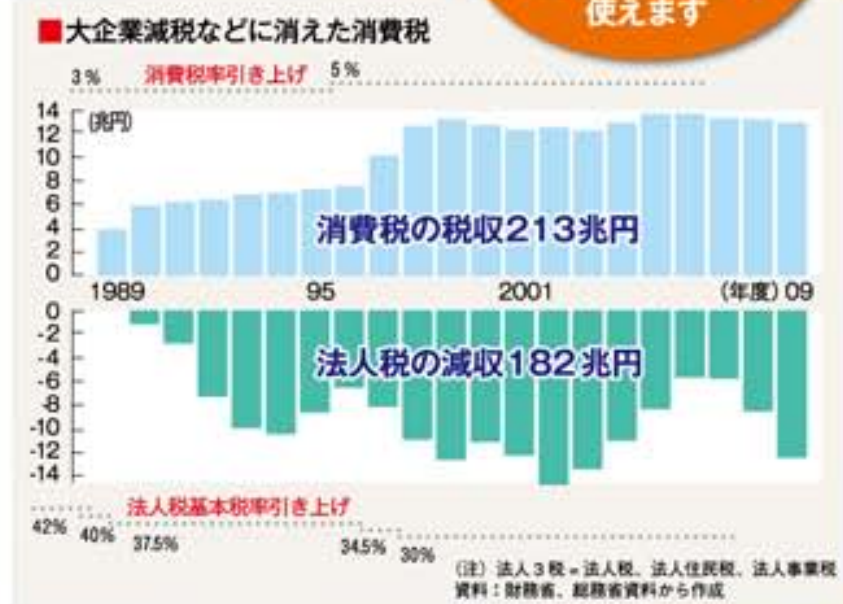
消費税は、所得の低い人ほど負担が重い最悪の税金です。民主党は「現在の衆議院の任期中の4年間は消費税を上げない」とする一方で、「消費税を財源とする“最低保障年金制度”の創設」をうたっています。財界やマスコミも消費税増税のオンパレードです。

この20年間の消費税の税収は、累計213兆円であり、一方で法人税の減収は182兆円です。法人税は81年まで42%だったものが、99年度以降30%まで引き下げられました。

この10数年間、法人税の減収が庶民に痛みを強いる消費税増税でまかなわれてきました。資本金10億円以上の大企業の内部留保は200兆円をこえ、毎年ためこまれています。利益の一部を働いている労働者に還元してこそ、私たち父ちゃんの仕事も増えます。

消費税増税など、とんでもありません。

日本にお金がないわけじゃない！
もっと国民のために使えます



9条守り
核廃絶

憲法9条を守り、核兵器のない未来をつくりましょう

今年は1960年の日米安保条約改定から50年、「国民投票法」にもとづく憲法改悪の発議が可能となる危機な年です。自衛隊の「イラク派遣」「ソマリア沖への派遣」と、憲法9条を踏みしめる行為が、憲法改悪をまたずにくり返されています。

その背景にあるのは「日米同盟」です。半世紀にもわたり日米関係のおおもとは安保条約がありました。そして日米関係の今「世界規模での日米同盟」へと変貌しています。参議院選挙のある今年、日本の政治・経済を変えていく上で重要な節目の年となります。

「もうやめて！ガマンも限界」…
みんなで手をつなぎ集まらしましょう